



ア ッ シ ス

NEWS ACCIS

Assistant Center of Certification and Inspection for Sustainability

2020.5月

会社分割と株式会社ACCISのご案内

ごあいさつ

この度、弊社は各事業の更なる発展を目的として、2020年4月1日に新設分割により「株式会社北海道有機認証センター」と「株式会社ACCIS」とに分割を致しました。

5月1日付で以下の手続きを致しております。

有機 JAS 認証業務については、現在の認証センター（札幌市）において「株式会社ACCIS」と社名を変更し承継いたしました。（詳細を別紙に同封いたします。）

GAP 認証業務については、業務センターをつくば市に移転し（本社東京都）社名を「AFC インターナショナル株式会社」と変更して、GAP 認証業務を継続し、更なる内容の充実を行います。

それぞれの認証業務に特化し、認証事業の更なる質的向上と発展を目指して参ります。

新体制のもと、従業員一同努力研鑽して参りますので、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年5月1日

株式会社ACCIS 代表取締役 塩田彦隆

【要返信】コロナウィルス感染症拡大に伴う実地審査・検査

政府及び地方自治体発令の外出自粛規制の延長及び接触感染リスクの対策の必要性を鑑み、有機認証及び GAP 認証における実施審査の対応を以下の通りに致します。

いずれも、認証事業者との細やかなやり取りが必要となります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【有機 JAS】

農林水産省からの通達により、5月以降の実地検査に「リモート検査」を導入します。通信環境の整っている認証事業者にはデータ通信を使った動画などによる検査を行います。通信環境が不十分な地域等については、現地に訪問し、離れて検査を行うことを行います。くわしくは、別紙「有機 JAS 検査実施に関するお伺い」をご確認のうえ、ご提出ください。

※リモート：離れて・遠隔の等の意味として用いております。

【GAP】

日本 GAP 協会からの通達により、農場の管理状態における「適切性の判断」を行うことにより、維持期限及び更新期限が6か月まで延長できます。但し「自己点検の記録」の提出により必要と判断される書類の提出により「適切性の判断」が確定することが義務付けられており、6か月以内に審査は行わなければなりません（免除や省略ではありません）。

リモート審査等については、協会からの見解が出ていない為、現時点としては農場の状況を確認しながら計画を進めていく予定です。

別紙「ASIAGAP/JGAP 今後の審査に関するお伺い」をご確認のうえ、ご返信ください。



2020年 有機 JAS 認証の主要な変更点

2020年の有機 JAS 認証の変更点について、農林水産省のホームページで、新しい有機 JASQ&A が公開されています。有機 JAS 認証に係る重要な変更が多数ありますが、今回は、主要な変更部分について、ご案内します。詳細は、講習会で皆様にお伝えしています。

1:有機畜産物とその加工品への有機JASマーク義務化

- これまで任意表示だったJASマークが**2020年7月16日から義務化**されます
- 牛乳、チーズ、ヨーグルト等の乳製品やミルクチョコレートについて、**有機JASマークの表示が義務**となります。

2:生産行程管理者による小分け業務の緩和

- 有機農産物の生産行程管理者が、他者の格付した有機農産物を仕入れて小分け販売する場合、小分け業者の認証を別途必要としていましたが、制限が緩和されました。**認証機関による確認を受け、「有機農産物」の小分け業務が可能**となります。
- 加工食品の生産行程管理者についても、同様に**認証機関による確認を受けて「有機加工食品」の小分け業務が可能**となります。
- なお、「**有機農産物**」の生産行程管理者には「**有機農産物**」の小分け業務を追加することができますが、「**有機加工食品**」の小分け業務を追加することはできません。

3:天災により土砂・泥水が流入した場合の救済

- 大雨、洪水に伴う土砂流入について、ほ場認証の取消しにあたるのか、明確になっていませんでした。
- 農水省の新Q&Aに明記され、土砂流入から一年間は有機格付出荷の一時停止。一年経過後に、「有機農産物」として出荷再開。という整理となりました。

4:ゲノム編集技術の禁止について

- 従来より遺伝子組み換え作物など遺伝子組み換え技術は有機JAS認証では厳しく排除されていましたが、今回「**ゲノム編集技術**」についても、有機JAS認証では**禁止**することが明確となりました。
- 「ゲノム編集技術」を利用した品種や、「ゲノム編集技術」を応用した農業資材の確認方法について、なお課題があることから、農林水産省で議論が継続されています。

今回ご紹介した新しい有機 JAS 有機 Q&A は農林水産省ホームページで公開されています。また、変更内容の詳細については、指定講習会でご説明しております。



格付実績報告をお願いします

2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の期間に、「有機JASマーク」を貼って出荷した数量（Kg）を集計してご報告をお願いしています。

農水省より、2019年度の集計項目について、変更があったことから、皆様へのご案内が遅くなり、申し訳ありません。

ご協力をよろしくお願いいたします。

- 格付数量をキログラム単位で集計して、ご報告ください。
- 有機ほ場で生産したものの、「有機農産物」ではなく、「一般の農産物」として出荷した分（格付外）は集計の対象外です。
- 茶園の格付数量について、今回報告分より「生葉」と「荒茶」が追加されています。それぞれ「有機生葉」の出荷量と、「有機荒茶」の出荷量で分けてご報告をお願いします。
- 新しい報告様式は、今回のニュースに同封していますが、(株)ACCISのホームページでも公開しています。「ホームページ」→「有機JAS」→「申請書・各種様式」とお進みください。
- 格付実績報告のご提出は、メール・FAX・郵送いずれでも構いません。
- お忙しい時期とは存じますが、5月20日を目処に、ご提出をお願いします。



「申請書」追加資料のお願いについて

毎年度の「申請書」は「3月まで」にご提出いただくようお願いしておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、検査員と農場との接触をさらに軽減する対策を実施しています。

別紙でもご案内していますとおり、リモート検査の有効性を確保すること、及び検査の時間短縮による負担軽減のため、検査実施が近づいた時点で、追加の書類提出をお願いすることといたしました。皆様にはお忙しい中ご負担をおかけすることになりますが、ご協力をお願いします。

- 検査当日に確認する内容の一部を、事前に書類で提出いただいて、検査前に確認します。
- 作業記録、機械の洗浄記録、製造日報など、指定した日付の記録類をあらかじめご提出いただき、検査員が確認します。
- 出荷の記録から生産行程に関する記録を遡る「記録のトレース」も、可能な限り記録・書類から事前に確認してまいります。
- 検査で確認する項目のうち、事前に記録上で確認が完了したものは、リモート検査・実地検査では省略し、時間短縮を図ります。
- 具体的な提出書類の内容については、書類審査の結果や生産品目の内容も含めて検討して、ご案内いたします。



有機手数料の改定について

■2020年3月検査実施分より改定

有機手数料について、3月に改定を行っております。新しい手数料については、ホームページにて公開しておりますのでご確認くださいませようお願いします。

皆様にはご負担をおかけすることとなりますが、ご協力をお願いいたします。

□料金改定の目的□

検査員への報酬確保による、労働環境を含む待遇の改善、高度な人材の確保及び教育訓練の充実。大規模なきのこ生産農場など、従来の手数料規程では不公平となる箇所についての公平性確保。



指定講習会の開催について

■指定講習会の安全な開催のために■

有機 JAS 指定講習会は、有機 JAS 認証申請の条件ともなっているため、一律の開催中止とはせず、感染防止対策を実施しながら、開催を継続しております。

- 発熱があるなど、体調に不安のある方は出席をご遠慮ください。
- せき・くしゃみのコントロールとともに、マスクの着用をお願いします。（講師もマスクを着用いたします。）
- 休憩時間などを利用し、定期的な換気を実施しながら講習を行います。
- 無用な接触を避けるため、間隔を開けて着席いただきます。
- 少人数開催となりますので、お早めにお申し込みください。

開催日	講習内容	講習時間	会場
6/22 (月)	【有機 JAS 指定講習会】参加費 10,000 円 ・生産行程管理者（農産物、加工食品） ・小分け業者	10:00～18:00 (受付 09:45～)	北海道大学 学術交流会館 (札幌市北区北 8 条西 5 丁目)
	【有機 JAS おさらい講習会】参加費 5,000 円 ・すでに有機認証を受けている既受講者向け	13:00～18:00 (受付 12:45～)	
7/19 (日)	【有機 JAS 指定講習会】参加費 10,000 円 ・生産行程管理者（農産物、加工食品） ・小分け業者	10:00～18:00 (受付 09:45～)	北海道大学 学術交流会館 (札幌市北区北 8 条西 5 丁目)
	【有機 JAS おさらい講習会】参加費 5,000 円 ・すでに有機認証を受けている既受講者向け	13:00～18:00 (受付 12:45～)	
8/18 (火)	【有機 JAS 指定講習会】参加費 10,000 円 ・生産行程管理者（農産物、加工食品） ・小分け業者	10:00～18:00 (受付 09:45～)	北海道大学 学術交流会館 (札幌市北区北 8 条西 5 丁目)
	【有機 JAS おさらい講習会】参加費 5,000 円 ・すでに有機認証を受けている既受講者向け	13:00～18:00 (受付 12:45～)	

指定講習会・おさらい講習会は、本年 9 月開催分までは日程が確定しています。

ACCIS ホームページに掲載していますので、御覧ください。

詳しくは HP・センター本部までお問い合わせください。

お問合せ・お申し込みは

株式会社 ACCIS

〒060-0807 北海道札幌市北区北 7 条西 6 丁目 2-34 SK ビル 7F

電話：011-375-0123 FAX：011-375-0193

E-mail：top@accis.jp URL：https://www.accis.jp

営業時間短縮について

新型コロナウイルスの流行に伴う緊急事態宣言を受け、営業時間を短縮しております。ご不便をおかけしますが、ご了承ください
営業時間：10時30分～16時00分